

平成 28 年度 長崎市自然環境調査報告書：哺乳類・爬虫類・両生類

長崎市自然環境調査委員 松尾 公則

1. 相川湿地（10 月、11 月、12 月、1 月、2 月）

年間を通して湿地の整備や観察会を実施しました。目撃される種は下記の通りでした。

[両生類] アカハライモリ、カスミサンショウウオ
ニホンヒキガエル、ニホンアマガエル、ツチガエル、ヌマガエル
ニホンアカガエル、シュレーゲルアオガエル

[爬虫類] ニホントカゲ、ニホンカナヘビ
シマヘビ、アオダイショウ、ヤマカガシ、ニホンマムシ

[哺乳類] イノシシ、ノウサギ、イタチ属の一種、テン、カヤネズミ、
コウベモグラ

《野外実習》

平成 28 年度は下記の 5 団体で野外実習を実施しました。

2/4 長崎大学教育学部 3 年生中理 学生 6 名、教員 1 名

長崎大学現職教員 CST 教員 5 名、引率 2 名

現職の先生方にとっては、卵塊の観察は初めてで、非常に興味を持たれていました。

理科の学生はボランティアで参加しており、自分が整備した場所に産卵していることに感動していました。

2/8 青雲学園 2 年生物選択者 生徒 101 名、引率教員 4 名

相川自治会 2 名

約 100 名の生徒が参加していましたが、湿地内では積極的にいきものとふれあっていました。

このような場所に来ること自体が初めてで、いい経験になったと思います。

2/10 長崎北高 2 年理系生物選択者 生徒 45 名、引率教員 4 名

相川自治会 2 名

2 年生の生物選択者の中で希望者のみが参加し、参加した生徒は理系の生徒がほとんどで、興味深げに観察していました。

2/11 自然共育コミュニティ 森のわ 積雪のため中止
大雪のため中止することとしました。

2/15 時津幼稚園 園児 48 名、引率教員 8 名
相川自治会 2 名
園児たちは寒さに負けることなく希少ないきものとのふれあいに高じていました。

《湿地整備》

今年度もニホンアカガエル等の産卵期前の 12 月、1 月にボランティアによる湿地整備を行いました。

11/3	10:00~12:00	西彼農業高校職員	1 名
		ニホンマムシ、ニホンアカガエル	
12/3	10:00~15:00	長崎大学教育理科 3 年生	8 名
		自然共育コミュニティ 森のわ	9 名
		時津幼稚園職員	8 名
		長崎北高 職員	1 名
		純心大学 1 年生	4 名
		海星高校生物部	12 名
1/3	13:00~15:00	長崎ケーブルテレビ職員	1 名

※松尾単独による整備：10 月から 2 月にかけて数十回整備を行いました。

※夜間救出作戦・・・相川川側から水田に入れないカエルの救出を行いました。

1/29(日)	19:00~22:30	カスミサンショウウオ	23 頭
		ニホンアカガエル	♀7 頭 ♂20 頭

2/5(日)	19:00~21:00	カスミサンショウウオ	5 頭
		ニホンアカガエル	5 頭

※ニホンアカガエル卵塊数

1/17	256 卵塊
1/30	746 卵塊（大雪の後に産卵が集中）

2/8；ニホンヒキガエルの卵塊 1 個体を確認しました。また、夜間調査では数個体の成体が見られましたので、やっと産卵してくれたという感じになりました。一方、ニホンヒキガエルは以前に比べ激減していました。

2/10；正確な数は把握できませんでしたが、少しずつ新しい卵塊も見られたことから、約 1,000 個体の卵塊と推定しました。

《相川湿地整備状況》



整備前の湿地状況（平成 28 年 11 月 3 日撮影）

整備前は、ほとんど水はなく草が生い茂った状況です。このままでは、アカガエル類が産卵できる状況にはありません。



休耕田 1 枚の湿地の除草に約 1 時間半かかりました。手前は水路のため素掘りの状況です。

湿地整備の状況（平成 28 年 11 月 3 日撮影）・・・草刈り



約30名のボランティアの協力により、3枚の湿地のあぜ沿いに水路を掘り、水を湿地全体に行き渡らせるように作業を行いました。

多くのボランティアによる湿地整備の状況（平成28年12月3日）



作業の状況と作業後に川で道具や身体を洗ったりしました。



《野外観察会（平成 29 年 2 月 8 日）青雲学園実習のようす》



青雲学園高校2年生生物選択者約100名が野外実習に参加し、40分間の観察を行いました。長靴を準備していない生徒は裸足で湿地内に入り卵塊に触れたり、カエル探しに熱中していました。



ニホンアカガエルの卵塊に触れるとともに、ほとんどの生徒がカエルの卵を見るのが初めてで、その感触を楽しみ、その場所の大切さを理解しているようでした。



ニホンアカガエルの卵塊が一番多い場所。約 100 卵塊がありました。

2. 高島調査 (11 月)

ヤモリ調査 : ニホンヤモリであることを確認しました。
ニホンカナヘビ・シマヘビ

3. 池島調査 (8 月)

ヤモリ調査 : ニシヤモリであることを確認しました。

4. 牧島調査 (7 月)

ニホントカゲ、ニホンカナヘビ、シマヘビ、ニホンヤモリ、イタチ属の一種

5. 野島調査 (5 月)

ヤモリ調査 : ヤクヤモリが多数生息することを確認しました。

6. 八郎岳周辺 (8 月)

両生類 : タゴガエル

爬虫類 : ニホンカナヘビ、ヤマカガシ

哺乳類 : ニホンジカ、コウベモグラ、イタチ属の一種

7. 彦山周辺（4月・10月）

爬虫類：ニホンカナヘビ、ニホントカゲ、ニホンマムシ、ジムグリ

哺乳類：キクガシラコウモリ、テン、イタチ属の一種、アナグマ、イノシシ、
コウベモグラ

8. 長崎女子短大敷地内（9月：4月からのまとめ）

両生類：ニホンヒキガエル、ツチガエル、シュレーゲルアオガエル

爬虫類：ニホンヤモリ、ニホントカゲ、ニホンカナヘビ、シマヘビ、アオダイショウ、
ジムグリ、ヒバカリ、ヤマカガシ

哺乳類：コウモリの一種、テン、イタチ属の一種